

平成 28 年 11 月 14 日

愛 媛 大 学

妊婦の喫煙が子のアトピー性皮膚炎のリスクを増加させる 研究成果を発表

愛媛大学が主導する共同研究チームが、出生前後の子の喫煙曝露とアトピー性皮膚炎との関連について調べたところ、妊娠中の母親の喫煙が、生まれた子のアトピー性皮膚炎のリスクを高めるといふ、世界で初めての研究成果を発表し、平成 28 年 10 月 28 日に学術誌「Nicotine & Tobacco Research」の電子版に公表されました。

妊娠中に喫煙する母親は出生後も喫煙を続けることが多く、出生前後の喫煙曝露が子のアトピー性皮膚炎に与える影響を、出生前と出生後で分けて解析することは困難でした。今回、妊娠中から母親と生まれた子を追跡調査した「九州・沖縄母子保健研究」のデータを活用し、出生前後の喫煙曝露を、「全く無い」、「妊娠中の母親の喫煙のみあり」、「出生後の受動喫煙のみあり」、「妊娠中の母親の喫煙と出生後の受動喫煙の両方あり」、の 4 つのグループに分けて解析しました。喫煙曝露が全く無い場合に比較して、妊娠中の母親の喫煙のみあった場合、医師診断によるアトピー性皮膚炎のリスクを有意に高めていました。

今後、更なる研究成果の蓄積が必要となりますが、妊娠中の母親の喫煙が、子のアトピー性皮膚炎の発症リスクを高めている可能性を示す非常に関心の高い研究成果であるといえます。

つきましては、是非、取材くださいますようお願いいたします。

掲 載 誌: Nicotine & Tobacco Research

論文タイトル: Pre- and postnatal smoking exposure and risk of atopic eczema in young Japanese children: a prospective pre-birth cohort study.

出生前後の喫煙曝露とアトピー性皮膚炎のリスクとの関連: 出生前コホート研究

著 者: 愛媛大学 田中 景子、三宅 吉博、古川 慎哉
琉球大学 荒川 雅志

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学大学院医学系研究科
疫学・予防医学講座

助教 田中 景子

Tel: 089-960-5283

※送付資料 3 枚(本紙を含む)

出生前後の喫煙曝露と子のアトピー性皮膚炎との関連

【背景】

喫煙曝露は、アトピー性皮膚炎に予防的であるという報告もあれば、リスクを高めるという報告、また、関連が無いという報告もあり、喫煙曝露とアトピー性皮膚炎との関連について、未だ、一致した結論は得られていません。今回、出生前コホート研究のデータを活用して、母親の妊娠中の喫煙及び出生後 1 歳までの間の受動喫煙と、2 歳時幼児のアトピー性皮膚炎発症との関連について解析しました。

【方法】

九州・沖縄母子保健研究では、妊娠中に実施したベースライン調査に 1757 名の妊婦さんに参加頂きました。出生時、4 ヶ月時、1 歳時、以後 1 年ごとに追跡調査を実施しています。今回、2 才時追跡調査で、International Study of Asthma and Allergies in Childhood (ISAAC) の疫学診断基準に則り、過去 1 年間に、アトピー性皮膚炎の症状があったかどうかの情報と、生まれてから 2 歳までの間に医師からアトピー性皮膚炎の診断をうけたことがあったかどうか、の情報を得ました。今回の解析では、2 歳時追跡調査まで継続的に参加いただき、解析に使用する変数に欠損のない 1354 組の母子を解析対象者としてしました。ベースライン調査時の居住地、子数、両親の教育歴、家計の年収、両親のアレルギー既往、子の出生体重、性別及び母乳摂取期間を交絡要因として補正しました。

【結果】

1354 名のうち、229 名(16.9%)が ISAAC によるアトピー性皮膚炎、62 名(4.6%)が、医師診断によるアトピー性皮膚炎と分類されました。出生前後の喫煙曝露を、全く無い、妊娠中の母親の喫煙のみあり、出生後の受動喫煙のみあり、妊娠中の母親の喫煙と出生後の受動喫煙の両方あり、の 4 つのグループに分けて解析したところ、喫煙曝露が全く無い場合に比較して、妊娠中の母親の喫煙のみあった場合、医師診断によるアトピー性皮膚炎のリスクを有意に高めていました。一方、出生後の受動喫煙のみあり、妊娠中の母親の喫煙と出生後の受動喫煙の両方あり、では統計学的に有意な関連は認めませんでした。ISAAC によるアトピー性皮膚炎と出生前後の喫煙曝露との間には、統計学的に有意な関連は認めませんでした。

【結論】

今回の出生前コホート研究のデータ解析により、妊娠中の母親の喫煙は、子のアトピー性皮膚炎発症のリスクを高めている可能性があります。出生前後の喫煙曝露と子のアトピー性皮膚炎発症との関連を明らかにするために、さらなるエビデンスの蓄積が必要です。

【出典】

Tanaka K, Miyake Y, Furukawa S, Arakawa M. Pre- and postnatal smoking exposure and risk of atopic eczema in young Japanese children: a prospective pre-birth cohort study. *Nicotine Tob Res.* in press.

	ISAACによるアトピー性皮膚炎		医師診断によるアトピー性皮膚炎	
	リスク (%)	補正 OR (95% CI)	リスク (%)	補正 OR (95% CI)
妊娠中の母親の喫煙				
なし (n = 1243)	16.7	1.00	4.7	1.00
あり (n = 111)	18.9	1.27 (0.74-2.11)	3.6	1.18 (0.34-3.16)
生後1歳までの家庭内における喫煙				
なし (n = 753)	16.3	1.00	5.2	1.00
あり (n = 601)	17.6	1.09 (0.81-1.48)	3.8	0.82 (0.46-1.42)
出生前後の喫煙曝露				
なし (n = 732)	16.1	1.00	4.9	1.00
妊娠中の母親の喫煙のみあり (n = 21)	23.8	1.89 (0.59-5.21)	14.3	7.11 (1.43-27.8)
生後1歳までの家庭内における喫煙のみあり (n = 511)	17.6	1.10 (0.80-1.51)	4.3	0.95 (0.53-1.68)
両方あり (n = 90)	17.8	1.22 (0.64-2.18)	1.1	0.32 (0.02-1.61)